

## Topics 機関投資家としての責任投資の強化

### 責任投資に関する基本的な考え方～社会的インパクトの創出～

当社は、「確かな安心を、いつまでも」という経営理念のもと、ご契約者へ還元するための収益性を確保しつつ、責任ある機関投資家として、ESG投融資やスチュワードシップ活動等の責任投資を通じ、持続可能で希望に満ちた豊かな社会づくりを

めざしています。

責任投資の推進にあたっては、「ステークホルダーへの影響度」「事業との関連性」をふまえて設定した5つの重要取組テーマについて、重点的に取り組んでいます。

#### ● 責任投資における重要取組テーマ



### インパクトファイナンスの拡大

2024年度から2026年度の3年間で1,200億円を目標に、社会や環境に対してポジティブなインパクトをもたらすことを目的とした「インパクトファイナンス」の拡大に取り組みます (ESG投融資全体では8,000億円を目標に設定)。

#### ● インパクトファイナンス取組例

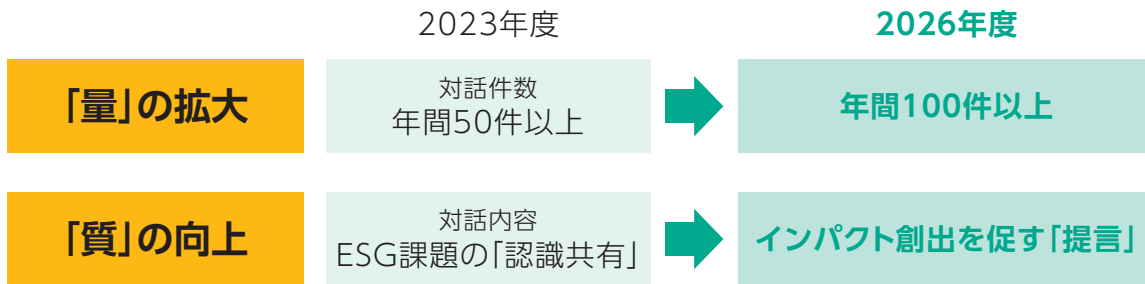
<p><b>「NextGen ESG Japan ファンド」への投資</b></p> <p>(株)SDGインパクトジャパンと当社と明治安田アセットマネジメントが共同で組成した社会的インパクトにフォーカスしたファンドに投資し、「脱炭素社会の実現」、「ソーシャル(人権等)」でのインパクト創出をめざします</p>	
<p><b>「東京ウェルネスインパクトファンド」への投資</b></p> <p>本ファンドを通じて、ウェルネス領域(医療・介護・健康・社会/経済)における課題解決を図るインパクト志向のスタートアップに投資し、「健康寿命の延伸」でのインパクト創出をめざします</p>	

#### ● ESG投融資取組例(MYサステナブルファイナンス)

法人のお客さまからの多様なESGファイナンスへのニーズにお応えすべく2023年度から取扱いを開始しました。2023年度実績は実行件数54件、実行金額731億円となりました。

## スチュワードシップ活動の高度化

国内外のイニシアティブへの積極的な参画や、(株)SDGインパクトジャパンとの協業等を通じて吸収した外部の知見や当社責任投資の重要取組テーマに対する企業の現況を反映した「当社独自のESG格付」の活用によって、ESGに重点をおく対話の件数拡大(「量」の拡大)、同対話の内容充実(「質」の向上)に取り組み、スチュワードシップ活動の高度化を推進します。



## 社会的インパクトの開示

社会的インパクト創出の進捗状況を確認する指標・数値を設定のうえ、モニタリングを実施するとともに、対象資産や測定内容の範囲拡大等を進め、責任投資における重要取組テーマの開示内容を充実させていきます。

### 脱炭素社会の実現

CO<sub>2</sub>総排出量<sup>(注1)</sup>  
**約262万t削減**  
再生可能エネルギー発電量<sup>(注2)</sup>  
**約1,300kW/h**

### ソーシャル(人権等)

水・食糧・インフラ支援等受益者数<sup>(注2)</sup>  
**約140万人**  
教育・就労支援等受益者数<sup>(注2)</sup>  
**約120万人**

### 生物多様性の保全

廃水・汚染水処理量<sup>(注2)</sup>  
**約3,800万m<sup>3</sup>**



(注1) 気候変動対応について対話した投資先のCO<sub>2</sub>総排出量2021年度削減実績(2019年度対比)の当社投資額の帰属割合にて算出しています  
(注2) 発行体の開示データを参考に当社投資額の帰属割合にて算出しています

## 責任投資については当社ホームページで公表しています

方針・態勢や、インパクトファイナンス・ESG投融資、スチュワードシップ活動に関する取組みは以下をご確認ください。



[https://www.meijiyasuda.co.jp/profile/ir/responsible\\_investment/](https://www.meijiyasuda.co.jp/profile/ir/responsible_investment/)

